

# 愛国小学校 家庭学習の手引き

## ◎家庭学習とは？

家庭学習は、学校で学習したことを定着・習熟させるために、また、自ら学ぶ習慣を身に付けるためにとても大切なものです。小学校の時期に家庭学習の習慣を身に付けることは、その後の学習にも生かされて行きます。

## ◎家庭学習への取り組み方

### 家庭学習の習慣化

毎日続けることが大切です。習い事や家庭の都合で予定通りできないこともあるかと思いますが、できるだけ時間を決めて取り組むことが習慣化につながります。

### 家庭学習時間の目安

各学年の発達段階を考えると、以下の時間が適当であると考えます。

☆ <10分 × 学年> 頑張れるときは + テン

(例：3年生であれば、 $10 \times 3 = 30$ 分) +10分

### 家庭学習を行う環境

落ち着いた環境で集中して取り組むことが大切です。テレビを観ながら、音楽を聴きながらでは、効果的な学習にはなりません。

### 継続は力なり

「継続は力なり」という言葉があります。小さな事でもコツコツと積み重ねることで、大きな力につながります。一つの目標が達成できたらほめたり、家族で喜んだりすることが、大きな励みとなり、続けようというやる気につながって行きます。

## ◎各学年の基本的な取組方

1年生	<p>担任から出される宿題を確実にこなして行くことによって、家庭学習の習慣づけをする時期です。家庭からの声かけによって継続して取り組めるようにしてあげるのも大切なことです。</p> <p>目標： 10分+テン</p>
2年生	<p>継続して、担任から出される宿題を確実にこなして行くことによって、家庭学習の習慣をより確かなものにする時期です。この時期も家庭からの声かけによって意欲を持って取り組めるようにしてあげることは大切なことです。</p> <p>目標： 20分+テン</p>
3年生	<p>担任から出される宿題に確実に取り組んで行くことによって、学習内容の定着を確かなものにして行きます。また、自分が間違えたところやわからなかったところをノートにやってみるという学習に取り組むにもいい時期です。(自学自習の初歩)</p> <p>目標： 30分+テン</p>
4年生	<p>担任から出される宿題に確実に取り組んで行くことによって、学習内容の定着を確かなものにして行きます。間違えたところや苦手なところを確実にするために自らノート作りに取り組み、自学自習の定着を図るにいい時期です。</p> <p>目標： 40分+テン</p>
5年生	<p>担任から出される宿題や調べ物をまとめたりする学習に確実に取り組むことによって、学習内容の定着を確実にし、学習をさらに進めて行くことができます。プリントやテストでわからなかったところや苦手なところを、もう一度ノートにやってみるという習慣化が大切になります。(自学自習の習慣化)</p> <p>目標： 50分+テン</p>
6年生	<p>担任から出される宿題や調べ学習に確実に取り組むことによって、学習内容の定着を確かなものにし、学習をさらに進めて行くことができます。プリントやテストでわからなかったところを、もう一度ノートにやってみて、自分のできなかったところを知り、次回に生かせるようにしておくことが大切になります。(学習計画を立て、自学自習に取り組む)</p> <p>目標： 60分+テン</p>